

第 478回 役員会議事録

日 時： 令和2年1月14日（火） 11：20～12：30

場 所： 特別応接室

出席者：

久保総長	丸野理事	荒殿理事	井上理事
安浦理事	石橋理事	山縣理事	内藤理事

欠席者：

1. 次期人文科学研究院長・人文科学府長・文学部長候補者の選考について

部局教授会から推薦された次期部局長の選考に係る候補者について、所信を聴取した上で審議を行った結果、当該候補者について以下のとおり次期人文科学研究院長・人文科学府長・文学部長候補者として選定することを議決した。

職名：人文科学研究院 教授

氏名：清水 和裕（しみず かずひろ）

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日（新任）

なお、審議に際し、以下のような意見交換があった。

- ・定員充足率の改善方策として具体的にどういった事を考えているか。
→就職支援室との連携を強化し、大学院の就職状況の改善に努めていきたいと考えている。また、他大学の事例をしっかりと検討し、ある種痛みを伴うような改革であっても向き合わなければならないというマインドセットを進めて行くことが必要だと考えている。
- ・科学史や科学哲学をしっかりとやって大学院教育の横串をさすようなことをしなければならない。また、マインドチェンジを図るためには小講座を見直し、中講座、大講座にしてマンパワーを有効活用にするような策を考えていただきたい。
→中講座、大講座制についての検討が必要だとの議論が出てきてはいるが、講座、研究室を大事にしなければならないという考えもあり、折り合いをつけていくという方向性を考えていきたい。活性化等の機会を捉えて、新しい分野へのアプローチをしながら全体としての構想を考えたい。

2. 次期教育学部長候補者の選考について

部局教授会から推薦された次期部局長の選考に係る候補者について、所信を聴取した上で審議を行った結果、当該候補者について以下のとおり教育学部長候補者として選定することを議決した。

職名：人間環境学研究院 教授

氏名：竹熊 尚夫（たけくま ひさお）

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日（新任）

なお、審議に際し、以下のような意見交換があった。

- ・日本で最初に PC 必携化を行った大学であるからこそ、ICT を使った教育はどうあるべきかというのをぜひ九州大学から発信していただきたい。
 - ・しっかりとしたバックグラウンドを持ち、高等教育とはどうあるべきかを対外的に提案できる高等教育の専門家を採用するよう努めていただきたい。
- 外部の方を採用することは非常に重要だと考えている。優秀な方が採用できるよう学部内の意思統一を図りたい。

3. 業績評価及び新たな年俸制の導入について

業績評価及び新たな年俸制の導入について説明があり、審議の結果、これを議決した。

4. 名誉教授の選考について

「九州大学名誉教授授与規則」に基づき、令和元年12月31日付で退職する名誉教授の称号授与について説明があり、審議の結果、これを議決した。

5. 役員の退職手当に係る業績評価について

令和元年12月末をもって退職した教授（元理事）の退職手当に係る理事在任期間（平成26年10月1日～令和元年12月31日）の業績評価について説明があり、審議の結果、これを議決した。

(以 上)